

バイデン偽政権は向こう見ずな選挙盗みの後、座を追われるだろう

SOTN, <http://cosmicconvergence.org/?p=37063> (宇宙的収束研究会)

January 19, 2021



神を欺くことはできない

これは「インスタント・カルマ」と呼ばれることもある。誰も、大統領選挙をあからさまに、白昼堂々と——実際には犯罪者は、人々がスクリーンを見ている夜にそれをやった——盗みながら、その極めて深刻な報復を免れることはできない。

昔の非常に賢明な聖書のことばに、「神を欺くことはできない」とある。

言われているのは、犯すことのできない宇宙の法則で、誰もカルマの顎を逃れることはできないという意味である。

しかし 2020 米大統領選挙の場合には、即刻に、はるかにより大きな何かが起こった。民主党による、やりたい放題の投票詐欺、投票用紙の不正操作、サイバー犯罪と選挙盗みが、

あまりにも大きなスケールで積み重ねられたので、いま地上のあらゆる文明が、アメリカを揺り動かし続けている、この畏るべき民主党の犯罪の大波を知っている。

この特定の難局を非常に特殊なものにしているのは、「最高の権力」が完全に明らかに、この前例のない選挙強盗を、**すべての人間のための**、教えの動機として利用していることである。

確かに、選挙季節の度ごとに、いつも、さまざまな程度の選挙詐欺はあった。しかし2020年の民主党の犯罪騒ぎは、前例がないだけでなく、全く戦闘的なものとして、あらゆる人々の顔面に押し付けられた。事実上あらゆる人々が（彼らの言い分は別にして）この上なく重要な選挙が、合法的な勝利者から奪われ、トランプ大統領への、**きわめて重い意味**をもつ、8千万票の願いが奪われたことを知ったとき、バイデン-ハリス犯罪ペアの負債は、払いきれない重いものになるだろう。

インスタント・カルマ

我々は、その終わりに向って、急速に加速しつつある時代を生きている… それに気付いていない人のために言っておけば。

歴史的事実の問題として、このような時代の終わるごとに、不可避的で予言可能な力学が働き、それが時間の圧縮を、目に見える感触として経験させる。

このような時間圧縮の期間には、犯罪の実行に対して、時間的により接近したカルマの報復が起こり、同時に、犯罪の現実場面に、より近い光景が現れる。

このような神秘的な現実から考えるなら、アメリカ人たちが目撃しようとしていることは、「インスタント・カルマ」を証明する、非情に劇的で記念碑的な出来事である。

暗黒サイドが、どれほどの権力と影響力をもっているように見えても、それはまた、犯すことのできないカルマの法則に対しては、非常に弱い側面をもつ。とりわけ、彼らが極端に無知で傲慢な特徴を示す、この時代の最後の日々においては。

「権力者たち」(The Powers That Be) は常に、カルマの顎に対して、弱点のない完璧なもののように見えていた。しかしそれは、**いかなる文脈から見ても真実ではない**。

本当を言えば、この時代が極端に暗黒で不透明な、光のない時代であるために、TPTB がカルマの厳しさを、あまり与えられていなかったのである。実はそれが意味するのは、彼

らが自分で自分を括る、より多くの首縄を与えられていたということ、しかも、これまでよりもっと長い時間の間、与えられているということである。

しかし、それも今は変わった。そして恐ろしい速さで変わっている。それがあまりにも速いので、これら惑星的食物連鎖のトップにいる、レプティリアン犯罪者たちも、彼らの予定された宿命を逃れようと、慌てふためいている。

明らかに、あのショッキングな 2020 選挙盗みを見ている限り、権力エリートたちは、決して彼らの目には見えない、ある転落の段階を予定されている。

しかし、どうししそんなことが起こるのか？

その理由は、グローバル・エリートたちは、彼らのデジタルの、AI によって駆動する生活を構築しているのだから、彼らは、ワープ・スピードで自分たちの方へやってくる、カルマの顎に全く気付かないからである。実際、これこそが暗黒の力が常に、彼ら自身の近視眼的なトンネル・ビジョンによって、彼らを盲目にさせる理由である。

結局ここから何が見えてくるか？

光の力（勢力）は、東洋でカリ・ユガとも呼ばれる、この闘争の時代の終わりに、暗黒の力（勢力）を打ち負かす。それが逆になることは決してない。

そして、非常に特徴あるトルクとねじれを持つ 2021 年に、みんなが明日はないかのように活動している、タイム・ワープのゆえに、鉄面皮にも、我々の未来を盗もうとしている者たちにとって、ごく近い将来、明日はなくなるだろう。

言い換えれば、「現在の権力者」(The Power That Be) は近いうちに、「過去の権力者」(The Power That Were) になるだろう。

しかし、どっかり坐って、ポップコーンを食べながら、これを見物するのはよろしくない。真理を拡散し、不法なロックダウン命令に抵抗する、あなた自身の役割を果たさねばならない。なぜなら、COVID-1984 暴政に（激しく）抵抗する惑星全体に及ぶ、真理探究者の批判的集団があつて初めて、New World Order の策謀は、永遠に崩壊し消滅するからである！

これは大きい!! 地球規模の反 COVID 革命がイタリアで始まる

<http://stateofthenation.co/?p=48653>

NWO グローバリストは、あなたの知っているこのことを、完全に知らないでいる：



そして、この「些細な」彼らの落ち度のために、陰謀団の不気味な New World Order アジェンダは、一昼夜で崩壊する。

真理を求める人々に申し上げる：——彼らの集団的な総崩れが起こるのは、仮定でなく現実の問題である。

そして、すべての人間に理解すべく与えられた、古い時代の忠告に、心を奮い立たせよ：

「神は早すぎず、遅すぎず、常に時間通りである。我々のタイミングは神のタイミングではない。神のタイミングは完全だ…」

[Greatchain 訳注]

トランプ大統領が、あまりにも静かにホワイトハウスを去って、気落ちしている方々に、これを読んでいただきたい。彼は闘志満々のまま、しかしあくまで静かに、誰を恨むこともなく、「また来る」と言って去った。彼の心中は、ここに書かれていることに、かなり近いのではなかろうか？ 「今、相手は怒り狂い、正常な状態にはない、今は正論を述べて抗うよりも、時を待つべきだ」と、考えたのではなかろうか？ もしそうなら、トランプは、ここに言われている「神のタイミング」を選んだことになる。

そして、この前例のない、あまりに異常で狂った選挙は、腹を立てるべきものでなく、「すべての人間のために」神の仕組んだ計略だったのではないかと、おそらく彼は考えた。ここに言われていることを、唯物論的に考えては理解できないが、地球上のあらゆる人間が「善」を求め「悪」を排するように、協力してエネルギーを用いるならば、時間の経過が「圧縮」され、思いがけない結果が起こる、と言っているように解釈できる。これは我々が、トランプ大統領と、内的なつながりを持つことでもある。

こんなことは数十年前の、唯物論全盛の時代には、ほとんど誰も考えなかったが、最近、スピリチュアル（霊的）なエネルギーというものを、多くの人が普通に考えるようになった。「カルマ」と言われるものも、これを頭から否定する人は、まずいないだろう。この狂気の選挙によって強引に作られた政権では、大きな負のカルマが、バイデン側に自然に働くものと思われる。しかし論者は、エリート権力者たちは、カルマの観念を全く持っていないと言っている。これは我々にとって有利な、ありがたい情報ではないか？

——以上